

Super  
Silicone  
RoofPaint

高耐候速乾アクリルシリコン樹脂系ルーフ用塗料

# スーパーシリコンルーフペイント

優れた耐候性・豊富なカラー

トタン屋根だけでなく、新生瓦、セメント瓦などの  
屋根材にも使用することができます。

# スーパーシリコンルーフペイント

## 優れた耐候性

アクリルシリコン樹脂を用いていますので2液のポリウレタン樹脂塗料以上の耐候性・耐久性を保持しています。

## 豊富なカラー

カラーバリエーションが豊富で様々なイメージ演出に対応することができます。屋根用カラーサンプルを金属系と窯業系でご用意しております。

## 幅広い旧塗膜適性

塗料用シンナーでうすめることができるため、旧塗膜を侵しません。

## 優れた速乾性

速乾性で塗装後の結露や降雨による白化がおこりにくく、施工時間の延長が可能です。また、低温時の乾燥性にも優れています。

## 幅広い素材適性

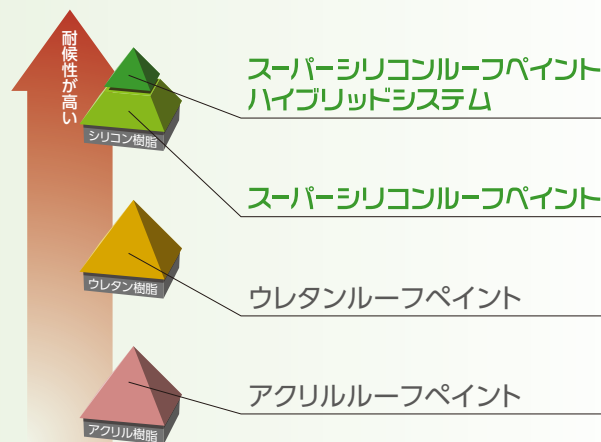
アクリルシリコン樹脂を用いていますので、従来のトタン屋根に加え無機質系(セメント系・スレート系)素材にも適用できます。

## 1液でも2液でもOK

スーパールーフハイブリッド硬化剤を用いることによって、1液から2液ルーフペイントとして使用できます。

## 屋根用塗料もいろいろ

塗料の樹脂は図の通り、上のランクほど耐候性が好くなります。



高光沢で耐候性(ツヤ持ち)が抜群!

だから塗り替え周期が長い!

だからお得!

結局

スーパーシリコンルーフが一番お得です。

## スーパーシリコンルーフペイント ハイブリッドシステム

凍結・融解を繰り返す

スーパールーフハイブリッド硬化剤を用いたシステム

### 特長

- 素地への密着力と耐水性が更に向上します。没水状態に匹敵するようなスノーダクトや勾配の緩い屋根のような凍結融解の激しい部位に最適です。
- 1液では従来のアクリルシリコン樹脂の性能を保持したまま使用でき、「スーパールーフハイブリッド硬化剤」を用いることで強靱な架橋反応を得ることができます。完全2液ルーフペイントとして使用できるので、1つのベース材で状況に応じた使用法が可能です。

### 性能比較

試験項目		スーパーシリコンルーフ	スーパーシリコンルーフハイブリッドシステム
光沢20/60°G		76/85	83/90
凍結融解サイクル	30 サイクル	○	○
	50 サイクル	△	○
塗膜物性	伸び率 (%)	79.0	98.0
	破断応力 (N/mm <sup>2</sup> )	10.5	13.0
促進耐候性 XWOM3000h	光沢保持率 (%)	86	90
	色差 (ΔE)	0.67	0.41

# あなたの家の屋根は、大丈夫ですか？

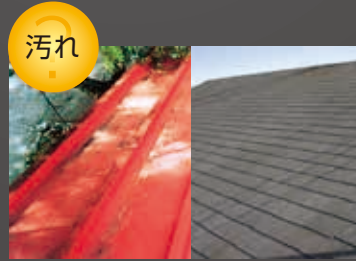
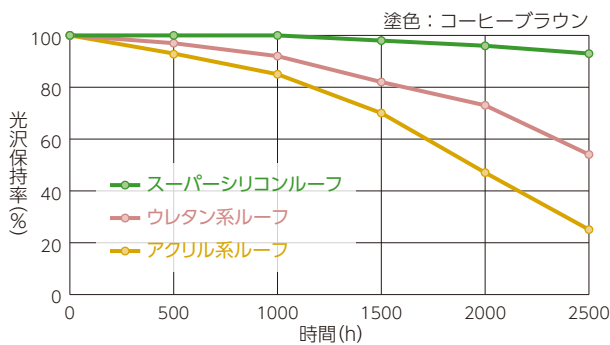
このような兆候が見られましたら、塗り替え時期です。

## 品質

荷姿	14L
色	標準色 30色・つや消し標準色 5色
仕上がり感	平滑
塗料比重	0.96~1.24
劇物表示 (品名・含有量)	—
労安法に基づく表示有害物	キシレン、エチルベンゼン
使用有機溶剤種別	第3種有機溶剤
消防法による危険物区分	第4種 第2石油類(非水溶性)
硬化剤の成分による区分	—

注) 上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。  
注) 特注対応により、つや消し(3分つや有り程度)が可能です。

## 促進耐候性試験：XWOM2500時間



樹木の落ち葉や大気  
の汚れが蓄積して、そ  
こから塗膜を劣化さ  
せていきます。



さびの発生が屋根全  
体の3%位に達すると、  
急速にさび面は拡大  
していきます。



つや(光沢)がなくな  
れば、それは塗膜が劣  
化した第一段階です。



塗膜の劣化が進むと  
手でさわればベタリ  
と白い粉状となって付  
着します。



塗膜がハガれて金属  
がむき出しになると、  
さびが発生し、最終的  
には腐食し雨水が浸  
入します。



ガムテープなどで、付  
着具合を確かめます。  
塗膜がテープに1割以  
上付着していたら塗り  
替えをおすすめします。

返す厳しい雪国の環境から屋根を守ります。

## ＝ スーパールーフハイブリッド硬化剤製品概要 ＝

- 製品名：スーパールーフハイブリッド硬化剤
  - 製品コード 127-702(標準型)
  - 製品コード 127-703(低温型)

- 容量：2L [1L×2本]  
(14Lに対して2L使用します。出荷は2本1セットとなります)

- 混合比：ベース/硬化剤=7/1  
(ベース14Lを14kg、硬化剤2Lを2kgとして計算してください)

※ポットライフは、23℃で3~4時間程度ですので、2~3時間で使い切れる程度の量を調査してご使用ください。

※スーパーシリコンルーフつや消しには、ハイブリッド硬化剤は使用できませんのでご注意ください。

# スーパーシリコンルーフペイント 標準塗装仕様

トタン						
工程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装方法	希釈率 (%)	希釈剤	塗装間隔 (23℃)
素地調整	高圧洗浄、3種ケレン程度の処理を行い、さび、劣化(膨れ・フレ・浮き)塗膜・ごみ・汚れなどを入念に除去した清浄な面にする。 素地露出部は下塗り工程で補修塗りを行う。					
下塗り	ザウルスEXII または 1液エスコマイルド または アレスルーフエポプライマー	0.13~0.17	はけ、ローラー エアレス	0~10 5~15	塗料用シンナーA	4時間以上 7日以内
上塗り (1回目)	スーパーシリコンルーフペイント	0.11~0.14	はけ、ローラー エアレス	5~15 5~15		2時間以上 7日以内
上塗り (2回目)	スーパーシリコンルーフペイント	0.11~0.14	はけ、ローラー エアレス	5~15 5~15		—

※所要量は被塗物の形状や素材、塗装方法、環境などによって増減する場合があります。  
※亜鉛メッキ、塩ビ被覆鋼板へ適用する場合は、別途ご相談ください。  
※JIS K 5629(鉛酸カルシウムさび止め塗料)は使用しないでください。

トタン【スーパーハイブリッド硬化剤】						
工程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装方法	希釈率 (%)	希釈剤	塗装間隔 (23℃)
素地調整	高圧洗浄、3種ケレン程度の処理を行い、さび、劣化(膨れ・フレ・浮き)塗膜・ごみ・汚れなどを入念に除去した清浄な面にする。 素地露出部は下塗り工程で補修塗りを行う。					
下塗り	ザウルスEXII または 1液エスコマイルド または アレスルーフエポプライマー	0.13~0.17	はけ、ローラー エアレス	0~10 5~15	塗料用シンナーA	4時間以上 7日以内
上塗り (1回目)	スーパーシリコンルーフペイント スーパーハイブリッド硬化剤 (ベース/硬化剤=7/1)	0.11~0.14	はけ、ローラー エアレス	0~10 5~15		2時間以上 7日以内
上塗り (2回目)	スーパーシリコンルーフペイント スーパーハイブリッド硬化剤 (ベース/硬化剤=7/1)	0.11~0.14	はけ、ローラー エアレス	0~10 5~15		—

※所要量は被塗物の形状や素材、塗装方法、環境などによって増減する場合があります。  
※新生瓦、セメント瓦へ適用する場合は、別途ご相談ください。  
※亜鉛メッキ、塩ビ被覆鋼板へ適用する場合は、別途ご相談ください。  
※JIS K 5629(鉛酸カルシウムさび止め塗料)は使用しないでください。  
※ポットライフは23℃で3~4時間程度ですの、2~3時間で使い切れる程度の量を調べてご使用ください。

ガルバリウム鋼板 ※焼付旧塗膜がある場合・旧塗膜がなく経年している場合						
工程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装方法	希釈率 (%)	希釈剤	塗装間隔 (23℃)
素地調整	高圧洗浄、3種ケレン程度の処理を行い、さび、劣化(膨れ・フレ・浮き)塗膜・ごみ・汚れなどを入念に除去した清浄な面にする。 素地露出部は下塗り工程で補修塗りを行う。					
下塗り	エポマリンGX (ベース/硬化剤=9/1)	0.16	はけ、ローラー	0~5	テクトEPシンナー	16時間以上 10日以内
上塗り (1回目)	スーパーシリコンルーフペイント	0.11~0.14	はけ、ローラー エアレス	5~15 5~15	塗料用シンナーA	2時間以上 7日以内
上塗り (2回目)	スーパーシリコンルーフペイント	0.11~0.14	はけ、ローラー エアレス	5~15 5~15		—

※所要量は被塗物の形状や素材、塗装方法、環境などによって増減する場合があります。  
※塗膜がない新設の場合は、付着不良(ハジ)が発生する恐れがありますので、塗装を避けてください。  
※上記のほか、下塗りとしてスーパーザウルスIIが使用できます。  
※亜鉛メッキ、塩ビ被覆鋼板へ適用する場合は、別途ご相談ください。

新生瓦						
工程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装方法	希釈率 (%)	希釈剤	塗装間隔 (23℃)
素地調整	劣化した旧塗膜や表面の化粧層、砂、ホコリ、汚れ、コケなどは高圧水洗浄機やワイヤーブラシなどを用いて入念に除去してください。 その後、水分がなくなるまで十分に乾燥させてください。					
下塗り	ヤネ強化プライマー-EPO	0.20~0.45	はけ、ローラー エアレス	—	塗料用シンナーA	4時間以上 7日以内
上塗り (1回目)	スーパーシリコンルーフペイント	0.22~0.29	はけ、ローラー エアレス	5~15 5~15		2時間以上 7日以内
上塗り (2回目)	スーパーシリコンルーフペイント	0.22~0.29	はけ、ローラー エアレス	5~15 5~15		—

上下の瓦が塗料で接着している箇所は、皮スキなどで線切りを行ってください。  
(瓦の上下に隙間がないと結露水の通気ができなくなり、素材の腐食・漏水につながる恐れがあります。)

※所要量は被塗物の形状や素材、塗装方法、環境などによって増減する場合があります。  
※洋風コンクリート瓦(モニエル瓦)粘土瓦(いびし瓦、釉染瓦など)には塗装できませんのでご注意ください。  
※素地調整などによって、下塗りが基材に吸い込みやすくなる場合があります。その際には、再度、下塗り工程を行い、表面が濡れ色になることを確認して、次の工程に移ってください。  
※金属部分については、ヤネ強化プライマー-EPOの代わりに、ザウルスEXIIなどの金属用さび止め塗料を塗装してください。

セメント瓦 ※劣化度：小						
工程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装方法	希釈率 (%)	希釈剤	塗装間隔 (23℃)
素地調整	劣化した旧塗膜や表面の化粧層、砂、ホコリ、汚れ、コケなどは高圧水洗浄機やワイヤーブラシなどを用いて入念に除去してください。 その後、水分がなくなるまで十分に乾燥させてください。					
下塗り	ヤネ強化プライマー-EPO	0.20~0.45	はけ、ローラー エアレス	—	塗料用シンナーA	4時間以上 7日以内
上塗り (1回目)	スーパーシリコンルーフペイント	0.22~0.29	はけ、ローラー エアレス	5~15 5~15		2時間以上 7日以内
上塗り (2回目)	スーパーシリコンルーフペイント	0.22~0.29	はけ、ローラー エアレス	5~15 5~15		—

※所要量は被塗物の形状や素材、塗装方法、環境などによって増減する場合があります。  
※洋風コンクリート瓦(モニエル瓦)粘土瓦(いびし瓦、釉染瓦など)には塗装できませんのでご注意ください。

セメント瓦 ※劣化度：中および大							
工程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装方法	希釈率 (%)	希釈剤	塗装間隔 (23℃)	
素地調整	劣化した旧塗膜や表面の化粧層、砂、ホコリ、汚れ、コケなどは高圧水洗浄機やワイヤーブラシなどを用いて入念に除去してください。 その後、水分がなくなるまで十分に乾燥させてください。						
下塗り	ヤネ強化プライマー-EPO	0.20~0.45	はけ、ローラー エアレス	—	塗料用シンナーA	4時間以上 7日以内	
中塗り	アレスルーフファイラー	0.30~0.80	はけ、ローラー エアレス	0~5 0~10		上水	16時間以上 7日以内
上塗り (1回目)	スーパーシリコンルーフペイント	0.22~0.29	はけ、ローラー エアレス	5~15 5~15		2時間以上 7日以内	
上塗り (2回目)	スーパーシリコンルーフペイント	0.22~0.29	はけ、ローラー エアレス	5~15 5~15	—	—	

※所要量は被塗物の形状や素材、塗装方法、環境などによって増減する場合があります。  
※洋風コンクリート瓦(モニエル瓦)粘土瓦(いびし瓦、釉染瓦など)には塗装できませんのでご注意ください。  
※下地劣化の判断は「セメント瓦劣化工法」のカタログをご参照ください。  
※下地処理が十分に行える場合は下塗り工程を省略することもできます。

## 施工上の注意事項

- ①沈降している場合がありますので、使用前に充分攪拌してください。
- ②他の塗料との混合は避けてください。
- ③希釈は必ず塗料用シンナーAで行ってください。
- ④気温の高い日や被塗物温度が高い場合は「スーパーノンブラ」をご使用ください。
- ⑤過乾燥による施工は、剥離・仕上がり不良・色分け等の原因となりますので所定の希釈率を遵守してください。
- ⑥品質が保持する塗膜性能を十分に発揮させるために、所定の塗り回数と塗膜確保による施工を行ってください。
- ⑦積雪の荷重を最も受けやすい軒先の部分、瓦葺の凸部、はげ部にはこすり付けるように増し塗りを行ってください。
- ⑧スノーダクトのような勾配の殆ど無い屋根の塗り替えは、高い耐水性能を要求されるため必ず下塗り1回、上塗り2回で塗装を行ってください。
- ⑨つや消しトタン屋根を塗り替える場合には、素材に対する上塗り塗料の吸い込みを抑えるため、ザウルスEXII またはスーパーザウルスIIを下塗りとしてご使用ください。
- ⑩トタン素地露出部はザウルスEXII またはスーパーザウルスIIで補修塗りを行い、所定の塗装仕様で塗装してください。
- ⑪使用した塗料用器具の洗浄にはラッカーシンナーをご使用ください。
- ⑫ヤネ強化プライマー-EPOは水分と反応して硬化しますので、容器の蓋を開けたまま放置したり、使用した残りの塗料を容器に戻すと、水分の影響でゲル化する恐れがあります。なお、開封後は速やかにご使用ください。

- ⑬有機溶剤を使用しているため、施工・保管には十分に配慮してください。
- ⑭エアレスによる塗装の場合は、塗装ミストによる汚染防止のために十分な養生を行ってください。
- ⑮錆が発生している箇所はワイヤーブラシ・サンドペーパー等で完全に除去してください。
- ⑯ほこり・油・樹液等は、塗装前に溶剤拭き・水洗い(温水)等で十分に除去し、乾燥した清浄な面にしてください。特にトタンの折曲げ部分はほこり・砂等がたまり易いので入念な清浄を行ってください。
- ⑰割れが広がっている旧塗膜は入念に除去してください。
- ⑱低温・多湿時に塗装し、未乾燥状態で夜露などにあたるとツヤ引けを起こすことがあります。
- ⑲秋期のような昼と夜の温度差が激しい時期は、結露による艶引き現象が起こり易いため、時間を考慮して塗装を行ってください。
- ⑳JIS K 5629(鉛酸カルシウム錆止め塗料)は使用しないでください。
- ㉑スーパーシリコンルーフつや消しは新生瓦、セメント瓦へは塗装できませんのでご注意ください。
- ㉒スーパーシリコンルーフつや消しは必ず上塗り2回で塗装してください。
- ㉓高圧洗浄を行なうと屋根が濡りやすくなりますので、足場には十分注意してください。
- ㉔高圧洗浄後は被塗面を十分に乾燥させてください。膨れ・割れ・剥がれの原因になります。
- ㉕高温(40℃以上)、低温(-5℃以下)での塗料保存は避けてください。

## ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。  
詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

- 予 防 策
- 取り扱った作業中・乾燥中ともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱った作業場所には局所排気装置を設けること。
- 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・スリ巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。火気や熱源を避け、静電気放電に対する予防処置を講ずること。
- 火災を発生しない工具・防塵用の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。
- 揮発又は高温の白熱体と接触しないこと。
- 本来の目的以外に使用しないこと。
- 指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。
- 缶の取っ手を持って振った時、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
- 取り扱った後は、洗眼、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
- 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
- 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。
- 対 応
- 目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。

- 皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。
- 吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
- 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
- 漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)を用いて取り、拭き取ること。
- 火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を使用すること。
- 保 管
- 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。
- 直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。
- 子供の手が届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

■ 廃 棄

本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水や河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)

■ 施工後の安全

本品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施工員に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立ち看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

## 関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ  
www.kansai.co.jp

本 社 TEL(03)5711-8904 FAX(03)5711-8934  
北海道 TEL(0133)64-2424 FAX(0133)64-5757  
北 東 北 TEL(022)287-2721 FAX(022)288-7073  
北 東 北 東 TEL(028)637-8200 FAX(028)637-8223  
東 京 TEL(03)5711-8905 FAX(03)5711-8935

中 部 TEL(052)262-0921 FAX(052)262-0981  
大 阪 TEL(06)6203-5701 FAX(06)6203-5603  
中 国 TEL(082)262-7101 FAX(082)264-3285  
四 国 TEL(0877)24-5484 FAX(0877)24-4950  
九 州 TEL(092)411-9901 FAX(092)411-3339

※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもありますのでご諒承ください。

ご用命は